



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 早川 敬介
ガバナー補佐 阿部 次雄
会長 生田目 正志
幹事 渡辺 達也

2024-25年度
地区スローガン

ロータリーを
楽しもう!
ENJOY ROTARY LIFE!

2024 - 2025 年度 ◆ 例会日 / 木曜日 12:30 ◆ 例会場 / かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ステファニー・A・アーテック 事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町36-6 TEL 070-8322-7988 FAX (024)505-4058
 マクマーラーRC (アメリカ・ペンシルバニア州)

9月は基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間

通算

第8回 [3168] 例会報告 令和6年(2024) 9月12日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	26名
欠席会員	13名
出席率	66.66%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 生田目正志 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 服部裕一 ソング
リーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕委員長

♪ 今週の誕生日

♪♪♪♪ 9月13日 佐藤 真也 会員
 9月17日 横山 辰徳 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

◆会長の時間



皆さん、こんにちは。お久しぶりでございます。この例会場を使うのは1ヵ月ぶりです。今日、皆さんにお配りした年次報告書ですが、いい色ですね。この年度はこの色です。これは1年間使いますので、名前を書いてちゃんと使ってください。よろしくお願いたします。今日は時間がないので、8月1日に緊急で県北第二分区会長・幹事会がありまして、その議事録が届きましたのでご報告だけいたします。要は3年後の2027-28年度、私たちの70周年事業の際に、県北からガバナーを出さなくてはならないという流れで呼ばれました。今度は第二分区からということで打診があり、既にあるクラブのお一人にお声掛けがなされているようですが、クラブ自体で自分たちではできないという流れがありまして、みんなで話し合いをしようという会議でした。結局は今までに前例がないのですが、第二分区6クラブ全体で分散しながら、ガバナーを盛り上げてやっていこうという意思決定の集まりでした。6クラブがそういう意向の下に署名という形で、飯坂クラブも同意するという会議でしたので、皆さんにご報告いたします。多分、そのままの流れで県北第二分区からパストガバナー補佐の方が就任されると思われまます。次回は11月19日に第4回の会長・幹事会がありますので、その時には大体は形になると思えます。一応、皆さんにご報告だけしたいと思います。今日は伊藤俊憲会員の楽しい卓話が待っておりますので、無駄な時間は使わないように終わりたいと思えます。よろしくお願いたします。



ロータリーソング 四つのテスト

◆幹事報告 渡辺達也 幹事

1. 月信 「ガバナー月信」 9月号 No.3
2. 来信
3. メーキャップ報告

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計46s】

- 生田目正志 会員 5s 伊藤会員のスピーチ楽しみです。
- 吾妻 一夫 会員 5s 伊藤さんスピーチ楽しみにしています。
- 菅野 浩司 会員 5s 前回欠席おわび 本日は伊藤会員のスピーチとても楽しみにしております。
- 加藤 淳 会員 5s 今月よりお世話になります。よろしくお願いたします。
- 渡辺 達也 会員 3s 伊藤俊憲会員スピーチ楽しみにしています。
- 安斎 忠作 会員 3s 伊藤さんのスピーチ楽しみにしています。
- 石川 邦俊 会員 3s 伊藤会員のスピーチたのしみにしています。
- 紺野 容樹 会員 3s 伊藤会員のスピーチ楽しみにしました。
- 斎藤 孝裕 会員 3s 伊藤さんのスピーチたのしみにしております。
- 佐藤喜市郎 会員 3s 伊藤会員のスピーチ宜しくお願いします。
- 白岩 裕和 会員 3s 妻への花束を頂きありがとうございました。伊藤さんのスピーチ楽しみにしております。
- 千葉 政行 会員 2s ・伊藤さんスピーチ楽しみにしております。
- 鈴木 牧子 会員 2s 伊藤会員のスピーチ楽しみにしています。
- 伊藤 俊憲 会員 1s スピーチ頑張ります。



加藤淳新会員へバッチの贈呈



「四つのテスト」額縁の贈呈

◆会員スピーチ

「日本語は変化(進化?)する?」 伊藤俊憲 会員



緊張しておりますが、皆さんのスマイルに励まされ、前半は少し堅くなり面白くないかもしれませんが、後半に向けて盛り上げてまいりますので、後半に期待してください。お手元に私の話すためのメモ書きがありますので、参考にしていただきたいと思います。

最近、気になることがあります、それは『日本語』です。私はご存知のように新聞記者を長くやっており、テレビとか見ている、日本語の使い方が間違っているのが気になっています。特にパリ五輪やパラ五輪のインタビューで感じた違和感です。「何とかと」思っている」というのがすごく多いのですね。インタビューに対して「思っている」というのは、あなたに聞いているのだから、客観的な「思っている」はおかしいと思います。ネット等で調べてみたのですが、やはり勘違いというか、大人物が意見を求め

られた時に「私はこう思っている」と言ったことの真似をしているというか、その辺から引きずられているのではないかと思います。また最近「なので」と文頭に使う方がいます。これは文の途中で何々なので何々という理由をつなぐ言葉なのです。これも流行なのですね。それはともかく、若者の流行語で最近「きしょい」と言いますが、これは「気色悪い」の省略です。「うざい」は「うざったい」の省略。日本人に限らず外国語もそうですが、縮めたり省略する文化があります。NHKの方と10年くらい前に対談したことがあるのですが、NHKだから正しい言葉を伝えるのかなと思ったらそうではなく、NHKは世間で流行した言葉に合わせていくというお話をされていました。最近よく使われる「やばい」ですが、これは「やば⇒矢場」です。昔、矢場という遊戯場があって、その矢場を隠れ蓑にして売春とかをやっていた。それが警察とかに摘発されるわけです。「矢場⇒やばい」が「今日はやばい」という隠語としてスタートしました。あとは省略の文化では、最近メールで「ま」とか、メールの文の中に一言が入っているのがよくあるそうなのです。「ま」は「まじ」の「ま」です。「り」は「了解」を一文字で表しているそうです。例えば、昔は「モボ」「モガ」と言いました。これは「モダンボーイ」「モダンガール」の略です。最近「ミスチル」や「冬ソナ」、「あけおめ」「ことよろ」などあります。おめでたいから「あけおめ」「ことよろ」ときても別に腹は立てませんが、「この度はご愁傷様です」を省略すると不謹慎な言葉になるので、丁寧な言葉はそのまま残っていかないと日本は大変だなと思います。こういう省略は日本語の乱れなのかでしょうか。日本語は乱れていると指摘する人もいますが、そもそも日本語は日々変わっているわけです。例えば、明治でいうと今は156年目、明治時代の言葉を今読んでもわかりません。150年の間に変わっていきます。昭和も今年100年目、昭和の初期の言葉も変わっています。日本語というのは日々変化しています。これは進化と言ってもいいと思います。省略したり、わかりやすい言葉に置き換えたりして変化しています。例えば「さよなら」は「左様ならば」です。「左と同じですので、これでしからば」というのが語源です。オフコースに「もう終わりだね...♪」という歌詞がありますが、これに「さよなら さよなら」と出てきます。この歌によってすごく美しいお別れの言葉になったのです。「さよなら」だからきれいに歌が成立しますが、元々の意味を考えると「それでは」とそこでお別れしているのだから、結構冷たいなという気がします。ちなみに「あばよ」という言葉は、幼児語の「あばあば」という言葉が語源になっています。

日本語の使い方が間違っているものもあります。「一生懸命」とみんなが言いますが、元々は「一所懸命」です。侍や大名が一つの場所、領地を与えられて、そこで命をかけて頑張る。それが「一所懸命」でしたが「一生懸命」に今はなっています。「役不足」と「力不足」の違いですが、例えば「私はこの度会長を拝命いたしまして、役不足ではございますが...」というこれは間違っています。「役不足」というのは、自分の力量に対して役が小さいことです。また「汚名挽回」も間違いです。「汚名返上」と「名誉挽回」が一緒になって「汚名挽回」と使われるようになりました。本当は「汚名返上」と「名誉挽回」のどちらかになります。「ワイシャツ」って本当は何だかわかりますか。「ワイシャツ」の語源は「ホワイトシャツ」ですが、これは間違っただけです。あとは「メリケン波止場」なんて言いますが、「メリケン」は「アメリカン」です。勘違いでできたというので、面白いと思うのは「月とすっぽん」ですが、本当は「月と朱盆」なのです。「背広」はイギリス ロンドンのサヴィル・ロウというストリートの名前が、いつの間にか「背広」になったのです。飯坂では石段階段を「ちゃんこちゃんこ」と言いますね。あれは元々下駄の音です。日本語というのは日々変わっているの、例えば、若い人たちの「ら抜き言葉」、「ひしょい」「きもい」なども日々変わっているの、もしかしたら10年後20年後には、NHKとかでも使っているかもしれません。ですので、日本語の乱れとは私は言えないのではないかと思います。もっと気になるのが、今の若い人たちのメールで「知らんけど」と最後につけるらしいですね。結局は発言の責任をとりたくないから「知らんけど」とか「みたいなの」とか、断定をしたくないのです。やはり人間関係にヒビが入るというのを恐れている若い人が多いのですね。軸足を片方に置かないで両方に置く。両構えでどちらとも取れる言葉の使い方を最近の人は使うなと感じます。日本語も恐ろしいところに行きかけたりしているのかなと思います。日本語の誤った例を調べて見ていくと面白いので、皆さんもぜひ調べていただければと思います。

最後に「それでは それでは」と書いてありますが、元々は「さよなら」の語源で、実際はこういう意味ですので、「さよなら」だからさまになるのであって、本来の意味は「しからば これにて」です。私のスピーチも時間となりました。これにて失礼いたします。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長

■第4回理事会開催 9月12(木) 13:30~「吉川屋」

《内 容》①10月のプログラム ②3クラブ合同例会について(福島北:主催、福島東、飯坂) ③エンドポリオの募金活動について(福島北、福島東、飯坂合同) ④国際交流フェスティバルについて ⑤70周年記念 実行委員会について

⑥その他 ⑦次回理事会 10月3日

《出席者》生田目正志、渡辺達也、安齋忠作、吾妻一夫、千葉政行、島 隆章、石川邦俊、菅野浩司、紺野容樹、Lu Yue、村上裕司、齋藤孝裕、佐藤喜市郎、白岩裕和、鈴木牧子、鈴木義明、高田 薫、油井明則 以上の会員